

心理学域報告 (2021.10.1~2022.9.30)

I 人事異動

2021年11月1日	小川 緑	特任助教	就任 [筑波大学人間系]
2021年12月31日	佐野 一広	特任助教	転出 [国立環境研究所]
2022年1月1日	Pasqualott Achille	准教授	就任 [University of Nottingham]
	佐越 祥子	特任助教	就任 [筑波大学 URA 研究戦略推進室]
2022年3月31日	大川 一郎	教授	転出 [埼玉学園大学人間学部]
	小川 園子	教授	定年退職 [筑波大学人間系特命教授]
	青木佐奈枝	准教授	転出 [立正大学心理学部]
	田附あえか	助教	転出 [大正大学人間学研究所]
	登藤 直弥	助教	転出 [東京都立大学人文社会学部]
	佐藤 洋輔	特任助教	転出 [埼玉学園大学人間学部]
2022年4月1日	水野 雅之	准教授	就任 [東京家政大学子ども学部]
2022年6月1日	中澤佳奈子	特任助教	就任 [医療法人イプシロン]

II 学域構成員 (2022年9月30日現在)

		研究領域				
		実 験	教育・認知	産業・社会	発 達	臨床・相談
教 授	綾部 早穂		原田 悦子	岡田 昌毅	安藤 智子	沢宮 容子
	山田 一夫		外山 美樹		佐藤 有耕 濱口 佳和	杉江 征 原田 隆之 藤生 英行 大塚 泰正
准 教 授	加藤 克紀			藤 桂	水野 雅之	飯田 順子
	高橋 阿貴 Pasqualott Achille			川上 直秋		
助 教	仲田真理子		千島 雄太 山口 一大		松田壮一郎	安 婷婷 慶野 遥香 菅原 大地 田中 崇恵 生田目 光
特任助教	小川 緑					久保 尊洋
	佐越 祥子					中澤佳奈子

III 訃報

2022年7月2日に、本学名誉教授 金子隆芳先生が逝去されました。心から哀悼の意を表します。

IV 心理学域教員指導論文題目一覧

1. 2021年度 博士論文

(1) 課程博士

氏名	論文題目	指導教員
ヒューマン・ケア科学専攻		
櫛引 夏歩	パーソナリティ障害傾向が自己呈示を介して日常の対人関係に及ぼす影響に関する臨床社会心理学的研究	沢宮 容子
小野 聡士	非自殺的な自傷行為の形態選択要因に関する臨床心理学的研究	青木佐奈枝
廣瀬愛希子	両親間の葛藤と情緒的交流が青年期の子どもの適応へ与える影響に関する心理学的研究 ——子どもの情緒的安定性に着目して——	濱口 佳和
生涯発達科学専攻		
前田 具美	組織内キャリア支援におけるキャリアコンサルタントの姿勢に関する研究	岡田 昌毅
須藤 章	役職定年者の組織内再適応に関する研究 ——大企業の従業員を対象として——	岡田 昌毅
桃谷 裕子	職場におけるフィードバック環境の形成と効果に関する研究	大塚 泰正

2. 2021年度 修士論文

氏名	論文題目	指導教員
心理専攻 心理臨床コース		
宮崎野乃花	いじめ被害経験からの回復像に関する探索的検討	杉江 征
山崎 麻菜	中学生用学習習慣尺度の作成と習慣形成を支える要因の検討 ——目標設定スキルと動機づけ調整方略に着目して——	濱口 佳和
心理学学位プログラム 心理基礎科学サブプログラム		
岩根 榛花	買い物行動における人-モノ相互作用と認知的加齢 ——商品探索場面における認知過程の検討——	原田 悦子
萩野 壮	大学生カップルにおけるリモートコミュニケーションと関係満足度の関連	佐藤 有耕
澤田 知恭	会話マネジメントモデルの提案と会話負荷の測定	原田 悦子
富田 彩乃	性的指向についての質的および量的検討 ——「ほぼ異性愛者」の捉え方と精神的健康に着目して——	外山 美樹
心理学学位プログラム 心理臨床学サブプログラム		
安藤 隆介	児童虐待に対する非公式社会統制尺度の作成	濱口 佳和
桐村 真優	注意欠如・多動症者における専門家への援助要請経路	濱口 佳和
清水 登大	アスリートの制御焦点とメンタルヘルスの関連	杉江 征
高橋 萌子	感情と脱中心化が宗教コーピングに与える影響	青木佐奈枝
田中 友理	クラシック音楽聴取による感動に影響を及ぼす要因の検討 ——個人的属性に焦点を当てて——	杉江 征

常藤かずみ	援助要請に伴う心理的葛藤プロセスの検討 ——過剰適応傾向のある大学生を対象として——	青木佐奈枝
永利 美郷	援助要請としてのいじめアンケートの機能の検討 ——教師認知と学級風土の関連に注目して——	濱口 佳和
鍋田 奈々	日誌法による状態ホープと日常的出来事との関連の検討	沢宮 容子
橋本 和直	不認証環境が境界性パーソナリティ障害傾向に及ぼす影響 ——感情制御の困難さに着目して——	杉江 征

感性認知脳科学専攻

加瀬田晃大	衝動的行動の抑制における腹側海馬の役割	山田 一夫
王 本津	The involvement of hippocampal NMDA receptors in relearning of spatial memory tasks in rats (ラットの空間記憶課題の再学習における海馬 NMDA 受容体の関与)	山田 一夫

ニューロサイエンス学位プログラム

相良 修	呼吸の経路および位相と空間認知の関連に関する研究	綾部 早穂
長谷川 夏	Retrieval-induced forgetting in neonatal MK-801 treated rats (新生仔期 MK-801 投与ラットにおける検索誘導性忘却)	山田 一夫

生涯発達専攻 カウンセリングコース

中島 哲	自閉スペクトラム症の成人の相談支援を行う職員の面接における工夫と カウンセリング自己効力感との関係	安藤 智子
森山 誠子	勤労者におけるメンタルヘルス専門家への援助要請に個人要因が及ぼす 影響 ——身体感覚の鈍感さに焦点をあてて——	藤生 英行
大野 留美	職場において発達障害者に対する援助行動を促進・抑制させる要因 ——発達障害者に関わる専門職と職場における援助者に焦点をあてて——	藤生 英行
熊谷 智宏	大学生の就職活動成果に対する経済格差・教育格差の影響 ——格差解消に対するインフォーマルメンターの役割に着目して——	藤 桂
関根 正壽	ペットの飼い主に対するロールレタリングの心理的効果 ——喪失後を想定してのペットとの対話を媒介として——	大川 一郎
花出 正美	進行・再発がん患者に対するがん看護専門看護師による相談支援に関する 研究 ——posttraumatic growth を支える相談支援の実施可能性の検討——	大塚 泰正

カウンセリング学位プログラム

足立 珠恵	小学校教員の特別支援教育学習動機と学校組織風土が特別支援教育に対 する意識・行動に及ぼす影響	飯田 順子
井上左奈恵	新型コロナワクチン接種への心理的過程に関する縦断的検討 ——日米比較およびインターネット上の情報収集との循環的影響に着目 して——	藤 桂
大重 都子	IT企業の職場において上司からの承認が部下の心理的ストレス反応、 ワーク・エンゲイジメント、ワークモチベーションに与える影響	大塚 泰正
岡村 実玲	企業間チームにおける葛藤の発生とイノベーションおよびワークエン ゲイジメントへの転換 ——組織間カルチュラル・インテリジェンスに着目して——	藤 桂

狩野 智子	軽費老人ホーム入居時の心理的適応に関する検討 ——友人関係機能に焦点をあてて——	大川 一郎
佐藤 央男	企業におけるミドルマネージャーのバーンアウトに与える要因の検討 ——統制の所在とソーシャルサポートに着目して——	原田 隆之
柘植 英水	管理職未経験の20-30代女性が抱く女性リーダーのイメージの国際比較 ——各種心理的要因が及ぼす影響の日本・英国・アイルランド間での探 索的検討——	岡田 昌毅
出村 敏恵	管理職における孤独感の緩和・解消プロセスの探索的検討	岡田 昌毅
永水 秀明	焚き火による心理的ストレス軽減効果の検証 ——注意回復理論に着目して——	飯田 順子
鳴海 泰子	公務従事者のモチベーションに関する実証的研究 ——日本版 Public Service Motivation 尺度の作成と関連要因の検討——	大塚 泰正
西岡 秀樹	注意欠如・多動性障害 (ADHD) とインターネット・ゲーム (IGD) と の関連性 その背景要因とゲームジャンルに着目して	原田 隆之
西山 悟史	デジタルトランスフォーメーション (DX) 人材の認知・非認知能力の変 容プロセスに関する探索的研究	岡田 昌毅
野村 浩平	海外赴任経験者のストレス関連成長とストレッサー, ウェルビーイング, バーンアウトとの関連	大塚 泰正
橋本 弘美	タスク重要性の認知がデイサービス介護職員の職務満足に及ぼす影響 ——関係性に基づく職務設計に焦点をあてて——	飯田 順子
服部 厚雄	パワーハラスメント目撃経験とアサーションおよび身体活動が抑うつに 与える影響	大塚 泰正
古田 聡	就労移行期における発達障がい者の労働価値観の探索および「困り感」 を規定因とする諸要因との関係に関する研究 ——障がい者雇用の質の向上に向けた一助として——	飯田 順子
松江川直子	働く困難を抱えた中年無業者が働くまでの心理的変容に関する探索的研究 ——地域若者サポートステーションの利用者を対象として——	大川 一郎
宮原 契子	治療の現前性 ——日本語版尺度の作成と声の共鳴を通した共に居る体験——	安藤 智子
山崎 理江	第3次産業に従事する労働者のクレーム対応における心理的構造モデル の検討 ——M-GTA・共分散構造分析を用いて——	大川 一郎

3. 2021年度 人間学群心理学類 卒業論文

氏名	論文題目	指導教員
知花 夏	新奇場面における高・低活動系雄マウスの探索行動に対する他個体の影響	加藤 克紀
池田 昂弘	職場における心理的居場所感が精神的健康に与える影響	岡田 昌毅
大場 幹央	集団内でユーモアが表出された際の行動に本来感が与える影響の検討	飯田 順子
兒玉 和貴	自己反すう・自己内省とストレッサーの交互作用は社交不安に影響をも たらすか	登藤 直弥
坂戸 奎太	認知的要因が身体感覚への気づきと精神的健康にもたらす影響 ——身体感覚の受容感とからだとの関係性に着目して——	杉江 征
佐藤 妃納	感染症の流行による, 非対面コミュニケーション増加の影響	藤生 英行
相場 遼	大学生の睡眠に対する行動的介入	松田壮一郎
赤井 志帆	中学生におけるセルフ・ハンディキャッピングと学業的・社会的達成目 標の関連	外山 美樹

荒川 晴香	リーダーシップスタイル認知とフォロワーシップスタイルがフォロワー自身の心理的側面に及ぼす影響	岡田 昌毅
安藤 光	情動体験を伴う物体記憶の想起におけるノルアドレナリン系の役割の検討	山田 一夫
五十嵐紗月	上司が若手の部下に抱く信頼	岡田 昌毅
池田 風沙	特性ノスタルジアと向社会的行動 ——道徳アイデンティティの観点から——	外山 美樹
石田 美里	学生が認知する養育態度の自己肯定感及び達成動機を介した充実感への影響	安藤 智子
磯辺 萌	日本の大学生における恥への対処行動と自己概念及び well-being との関連	安藤 智子
稲室 俊介	心理統計学のとらえ方と動機づけ・成績の関連	登藤 直弥
宇田 怜央	トピックモデルを利用した日記の分析とその心理学研究への応用	登藤 直弥
宇津木 陸	大学生の余暇活動とレジリエンスとの関連	沢宮 容子
大坪 万莉	利得回復志向と信頼感から見た、恋人への過剰な援助行動	青木佐奈枝
岡田 一希	公正世界信念が COVID-19に関する陰謀論およびワクチンへの態度に及ぼす影響 ——陰謀によって保たれる「公正な世界」——	藤 桂
岡部 莉子	人に対する信頼性学習と顔認識能力の関係	原田 悦子
岡本 昂大	発達段階のマウスにおける腸内細菌叢の構成変化による攻撃行動への影響	高橋 阿貴
奥山あかり	HSP 傾向者の対人場面における感情的混乱の収束過程	青木佐奈枝
小笹 朋哉	聴覚環境と認知的加齢が視空間的課題達成へ及ぼす影響 ——ノイズキャンセリング, 自然音, 音楽の効果——	原田 悦子
勝田 美緒	スタッフ転向を経験した大学野球部生の諦観と意味づけのプロセス	菅原 大地
柄澤 輝	思考記録表の記入内容評価を含めた認知再構成法の効果検証	松田壮一郎
菊地 阿子	拒絶過敏性と対人的な適応の関連 ——コミュニケーション・スキルに着目して——	杉江 征
窪田 芽吹	LA 乳酸菌の摂取がラットのストレス耐性に与える影響	山田 一夫
境野 佑香	スキーマと拒絶感受性および摂食障害傾向との関連	沢宮 容子
櫻井 美妃	ストレス場面ごとにみたストレスコーピングの有用性 ——ストレスコーピングの 8 分類を用いて——	佐藤 有耕
佐藤 恵里	統合失調症モデルラットの認知機能障害に対する青年期の環境エンリッチメントの回復効果	山田 一夫
里見 遥	日常的マイクロフロー経験としてのアイドルファン活動が及ぼす心理的影響 ——経験サンプリング法を用いた検討——	藤 桂
志岐 友晶	エピソード的将来思考が遅延価値割引に与える影響 ——制御適合の観点から——	外山 美樹
篠原柚里奈	自閉スペクトラム症幼児における睡眠中の心拍変動と日中の問題行動の対応 ——衣服型デバイスを用いた縦断的研究——	松田壮一郎
柴村 侑沙	向社会的な嘘はなぜ生じるのか ——主観的な親密度・アサーション・有害さの知覚から——	外山 美樹
庄野 花玲	統合失調症モデルラットにおける運動主体感の行動学的評価	山田 一夫
鈴木 彩夏	画面提示された母親顔に対する幼児の視線停留は, 自由遊び場面における母親顔への注視行動を予測するか	松田壮一郎

駿河くるみ	母親の HS 傾向が育児ストレスと養育行動および子どもの適応に与える影響について ——育児ソーシャル・サポートと被非難経験の調整効果の検討——	濱口 佳和
高下 紘平 竹林 佑花	大学アメフト部の学生スタッフのワークモチベーションを高める要因 自己開示が反すう及び抑うつに与える影響 ——被開示者の反応・認知的再体制化を介して——	佐藤 有耕 青木佐奈枝
土田 玲菜 土屋 紫音 鶴飼 廉	新生仔期母仔分離が雌雄ラットのリスク選択に及ぼす影響 “一般他者”を想定した成人愛着スタイルと主観的 well-being との関連 両親間葛藤と子どもの認知評価および不適応との関連 ——きょうだいの親密さに着目して——	山田 一夫 沢宮 容子 濱口 佳和
富樫 芽生	美容整形への肯定度に関連する心理的要因 ——青年期女性を対象として——	佐藤 有耕
外山陽一郎	高校運動部員における過剰適応傾向とバーンアウトの関連 ——指導スタイルの認知に着目して——	外山 美樹
中尾菜々子	追求者 / 満足者の家電操作への取り組み ——主観評価と課題達成の検討——	原田 悦子
野口 優子	大学生のデート DV 加害の個人要因 ——攻撃性・自己愛・ジェンダー観の検討——	濱口 佳和
八斗 啓悟	大学生スポーツ競技者におけるグリットとマインドフルネスが競技パフォーマンスに及ぼす影響	菅原 大地
本田 麻衣	感情性に困難を抱えるパーソナリティ障害傾向における感情制御の特徴の検討	菅原 大地
丸山 穂高 水野妃奈子	近交系雄マウスのケージメイトに対する選好性と短期隔離の効果 日本人大学生にとっての幸福とは何か ——獲得的な幸福と協調的な幸福に焦点を当てて——	加藤 克紀 菅原 大地
宮川 紫苑	大学生における不眠と認知的変数の関連についての調査研究 ——反芻の種類と抑うつに着目したモデルの検討——	菅原 大地
村川 菜月	社会的比較志向性とポジティブな共感の関連 ——注意の焦点に着目して——	外山 美樹
目黒 文乃	“かわいい”感性に対する音声の影響 ——アバター対話システムを用いた検討——	原田 悦子
谷内 龍平	演技場面における感情表現と感情認知に関する検討 ——基本感情と混合感情を扱って——	菅原 大地
横田 陽生	サッカーにおける認知的疲労 ——トレーニングプラン策定に向けた基礎研究——	原田 悦子
PARK GYUYEON	大学生における時間管理とストレス反応の関連 ——時間管理に対する他者からの評価と自尊感情を媒介としたモデルの検討——	外山 美樹
HU BRIAN	The Effects of Maternal Separation and Maternal Stress on the Emotionality of C57BL/6N Male Mice	高橋 阿貴

V 2021年度各種表彰など

氏名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名 (掲載誌), または受賞理由
心理学域		
佐越 祥子	第10回 松原学術奨励賞 (心友会 筑波大学)	<u>Sagoshi, S.</u> , Maejima, S., Morishita, M., Takenawa, S., Otubo, A., Takanami, K., ... & Ogawa, S. (2020). Detection and characterization of estrogen receptor beta expression in the brain with newly developed transgenic mice. (Neuroscience, 438, 182-197.)
千島 雄太	第13回心理学独創研究内山記念賞 (心友会 筑波大学)	<u>Chishima, Y.</u> , & Wilson, A. E. (2021). Conversation with a future self: A letter-exchange exercise enhances student self-continuity, career planning, and academic thinking. (Self and Identity, 20(5), 646-671.)
仲田真理子	第三回「上手な医療のかかり方アワード」 厚生労働省医政局長賞 民間団体部門優秀賞 (厚生労働省)	筑波大学 行動神経内分泌学研究室／富山大学 医学部「発達障害の当事者とまわりの人のための薬はじめてガイド」の製作・発行
川上 直秋	2021年度日本心理学会優秀論文賞 (日本心理学会, 2021年10月1日)	<u>川上直秋</u> (2020). 指先が変える単語の意味——スマートフォン使用と単語の感情価の関係——. 心理学研究, 91, 23-33.
高橋 阿貴	第12回入澤彩記念女性生理学者奨励賞 (日本生理学会, 2022年3月17日)	高橋阿貴 (2022). 社会的ストレスと攻撃性をつなぐ神経メカニズム, 第99回日本生理学会大会
ヒューマン・ケア科学専攻		
廣瀬愛希子	茗溪会賞 (筑波大学, 2022年3月)	茨城県内の幼児に対する発達臨床心理学的支援活動
感性認知脳科学専攻		
村川 友哲	第81回日本動物心理学会大会 優秀奨励賞 (日本動物心理学会, 2021年10月)	<u>Murakawa, T.</u> , Hata, K., Kogure, R., Sano, K., Ogawa, S., Estrogen receptor beta-expressing cells in the dorsal raphe nucleus play a role in estrous cycle-stage dependent expression of lordosis behavior in female mice
生涯発達科学専攻		
須藤 章	令和3年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻長賞 (筑波大学, 2021年3月)	役職定年者の組織内再適応に関する研究——大企業の従業員を対象として——
心理学学位プログラム 前期課程		
清水 登大	令和3年度筑波大学人間総合科学学術院長賞 (筑波大学, 2022年3月)	アスリートの制御焦点とメンタルヘルスの関連

岩根 榛花	令和3年度筑波大学人間総合科学 学術院心理学学位プログラムリー ダー賞（筑波大学，2022年3月）	買い物行動における人—モノ相互作用と認知的加齢 ——商品探索場面における認知過程の検討——
岩根 榛花	茗溪会賞（筑波大学，2022年3月）	地域企業との緊密な共同研究に基づく、「高齢者にとっ ても使いやすい」店舗デザインに関する研究
鍋田 奈々	令和3年度筑波大学人間総合科学 学術院心理学学位プログラムリー ダー賞（筑波大学，2022年3月）	日誌法による状態ホープと日常的出来事との関連の検 討

カウンセリング学位プログラム 前期課程

井上左奈恵	令和3年度筑波大学大学院人間総 合科学学術院長賞（筑波大学，2022 年3月）	新型コロナワクチン接種への心理的過程に関する縦断 的検討——日米比較およびインターネット上の情報取 集との循環的影響に着目して——
宮原 契子	令和3年度筑波大学大学院人間総 合科学学術院カウンセリング学位プ ログラム賞（筑波大学，2022年3月）	治療的現前性——日本語版尺度の作成と声の共鳴を通 じた共に居る体験——

心理学類

窪田 芽吹	人間学群長賞表彰（筑波大学，2021 年3月）	優秀な学業成績を収めた学生として表彰を受けた。
佐藤 恵理	人間学群長賞表彰（筑波大学，2021 年3月）	優秀な学業成績を収めた学生として表彰を受けた。
相場 遼	筑波大学校友会賞（筑波大学，2022 年3月）	卒業研究において優秀な成績を収めた学生として表彰 を受けた。
村川 菜月	茗溪会賞（筑波大学，2022年3月）	優秀な学業成績を収め、顕著な課外活動を行なった学 生として表彰を受けた。
柄澤 輝	茗溪会賞（筑波大学，2022年3月）	優秀な学業成績を収め、顕著な課外活動を行なった学 生として表彰を受けた。
奥山あかり	つくばスカラシップ「大学院進学奨 励奨学金」奨学生	